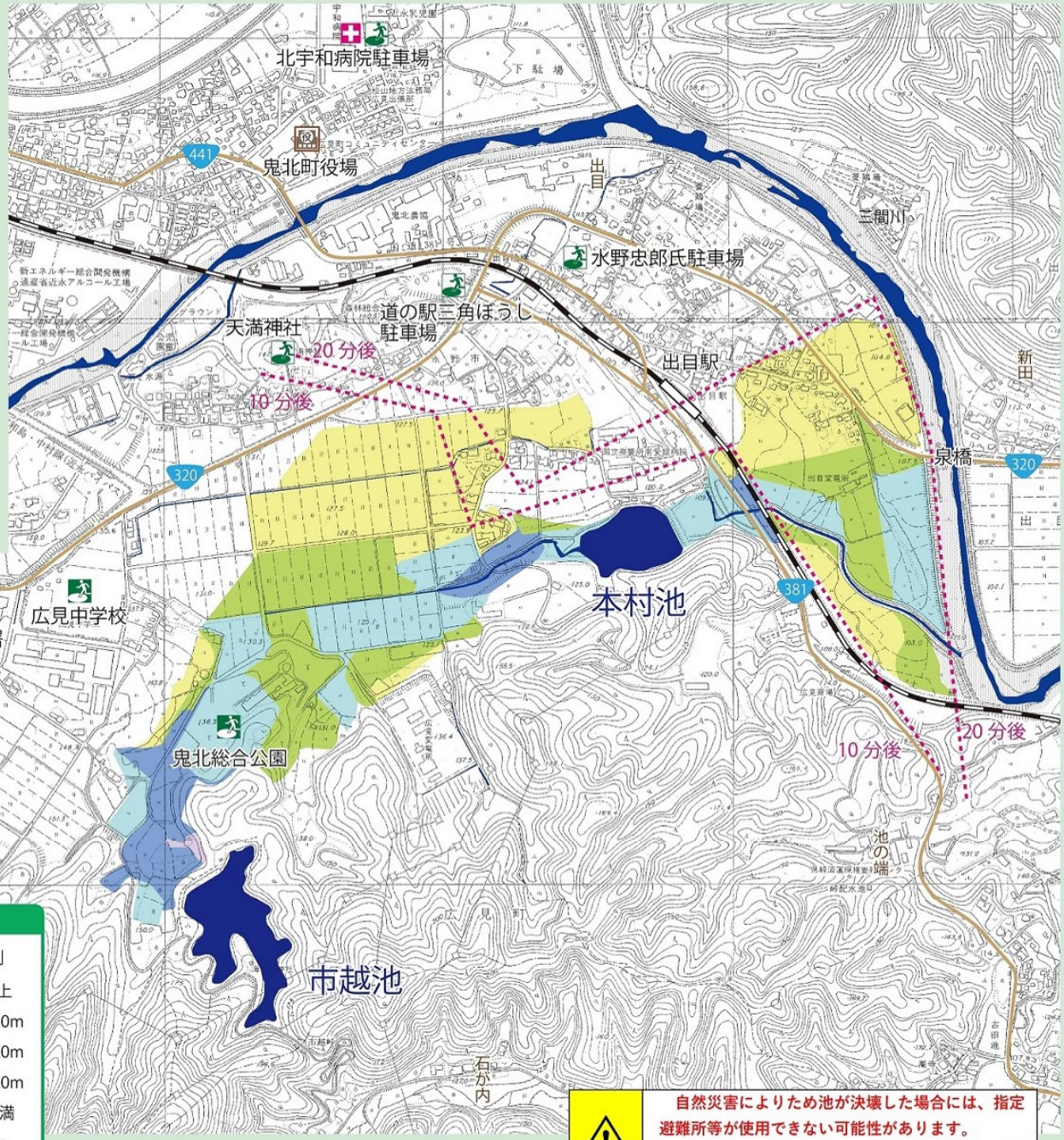
市越池
本村池
ため池 ハザードマップ

この地図は、農業用ため池の『市越池』『本村池』が、南海地震などによって大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊し、洪水が発生した場合を想定し、そのはん濫水が到達する可能性のある区域の最大範囲と、予想される浸水の深さを表示したものです。

実際のはん濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もありますが、地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げること」が何よりも大切です。

地域の皆さんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めてください。



凡　例

- 避難場所（グラウンド等）
- 避難場所（避難施設兼グラウンド）
- 町役場
- 警察署
- 病院
- 鉄道
- 主要道路

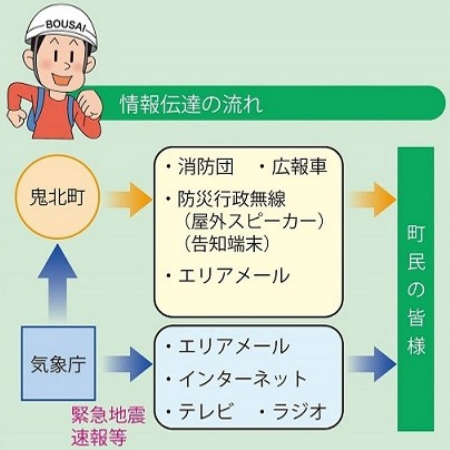
ため池のはん濫に関する凡例

■浸水深
- 5.0m以上
- 2.0 ～ 5.0m
- 1.0 ～ 2.0m
- 0.5 ～ 1.0m
- 0.5m 未満

■到達時間
- はん濫水の到達時間線

自然災害によりため池が決壊した場合には、指定避難所等が使用できない可能性があります。
特に、はん濫水の到達想定区域内にある施設はご注意ください。

情報伝達の流れ



地震時の心得10ヶ条

1. **まず身の安全を!**
   ケガをしたら火の始末や避難がおくれてしまいます。家具の転倒や落下物には充分な対策を。
2. **すばやく火の始末**
   揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。
3. **戸を開けて出口の確保**
   震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。
4. **火が出たらすぐ消火**
   万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。
5. **あわてて外に飛び出さない**
   飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。
6. **狭い路地やブロック塀には近づかない**
   ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく避難を。
7. **協力し合って応急救援**
   地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。
8. **山崩れ、がけ崩れに注意**
   居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。
9. **避難は徒歩で**
   マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。
10. **正しい情報を聞く**
    事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。